

保護者等向け

児童発達支援評価表

(保護者等の皆様へ)

この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。

(回収 38人/未回収 人)

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	未回答	ご意見
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	36	2				<ul style="list-style-type: none"> <li>・スペースは十分とれていると思います。</li> <li>・ホールも広くていろんな遊びがあるのでいいと思います。</li> <li>・平日1時間療育で一人になる時には広すぎるとは思えた。</li> <li>・広いので息子は走り回って楽しく遊んでいました。</li> </ul>
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	27	4		6	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・こちらからの質問や相談に対して、その都度適切に対応していただいている。</li> <li>・お昼ご飯時の職員の方の数がもう少し多いとスムーズかなと思いました。(そら組)</li> <li>・日曜日は先生が大変そうに見える。(あゆみより) 基準配置以上の職員を確保し、お子様の療育及び安全面への配慮を行っております。職員の質の向上を図るとともに、療育体制がスムーズに行えるよう努力いたします。</li> </ul>
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	34	2		2		<ul style="list-style-type: none"> <li>・細かく視覚化されており分かりやすいです。</li> <li>・写真やイラストがあるので、言葉で理解しにくいことも本人に分かりやすくなっていると思う。</li> <li>・いろいろな伝え方があって、それを見て子どもも理解できています。子どもも入った頃より成長していると思います。</li> <li>・朝の準備で自分でタオルなどいつもの位置に持っていく習慣ができていますので、先生たちの声かけも分かりやすくて場所も分かりやすいのだと思います！</li> <li>・分かりやすく絵とともに説明があるのでやりやすかったと思います。</li> <li>(あゆみより)それぞれのお子さまが自分の力を出せるように特性に応じた伝え方、関り方をしてまいります。</li> </ul>
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	37	1				<ul style="list-style-type: none"> <li>・なっていると思う。</li> </ul>
	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>児童発達支援計画*2</u> が作成されているか	36				2	

適切な支援の提供	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	30	3		4	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ガイドライン自体内容が分からず項目もよく分かりません。10月ぐらいからあまり話すことも相談もせずなので分かりません。</li> <li>・人の前で自分のことやテーマに沿ったものについて話すという場を設定していただき、経験を重ねることで自信もついてきたと思います。</li> <li>（あゆみより）ガイドラインについては保護者の方に十分にお伝えができなかった面もあるかと存じます。ご不明な点はいつでもご質問いただけるように、相談しやすいセンターを目指します。</li> </ul>
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	32	4		1	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的な話は最初にしてもらったがそれ以上は話すこともなく。</li> <li>（あゆみより）保護者の方に十分にお伝えできなかった面もあるかと存じます。ご不明な点はいつでもご質問いただけるように、相談しやすいセンターを目指します。</li> </ul>
	8	活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	26	3		8	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な事柄に取り組まれていると思います。</li> <li>・1時間療育で固定化しないと難しいのでは？ワークのみ変更ならできていた。</li> <li>・子どもが飽きないように、楽しめるように工夫されていたと思います。</li> <li>（あゆみより）児童発達支援センターの療育についてご理解いただけるように参観週間などを設け、保護者の方に見ていただけるように改善してまいります。</li> </ul>
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	16	1	4	16	1	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まだ利用して日も浅いので、これからこういう活動があると思うので分からないに○をさせてもらいました。</li> <li>・保育園訪問という意味なら個人的に来てもらったことがないような気がしますが他の子のついではある。</li> <li>（あゆみより）児童発達支援センターは県外では毎日通園が主流となっておりますが、高知市ではほとんどのお子さまが地域の幼稚園・保育園・認定こども園などとの並行利用となっております。そのため、今年度は質問項目のような交流は行っておりません。今後、必要があれば検討いたします。</li> </ul>
	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	38					
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	32	4		2		
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング*4等）が行われているか	26	7		2	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方の関わり方を参考にさせていただいています。</li> <li>・個人的にもう少し多くのお母さんの対応の仕方を聞きたかった。</li> <li>・子どもが保育園での行事でつまずいたり、苦手な病院受診の時にスケジュールを作ってもらったり、アドバイスをもらえ助かりました。</li> <li>（あゆみより）ペアレントトレーニングは年長児の保護者を対象に実施いたしました。次年度も継続して企画いたします。</li> </ul>

保護者への説明等	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	28	7		1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できている。</li> <li>・話す時間を私個人的にも設けていないですし、あまり聞かれることも少ないので。</li> <li>・いつも子どもをたくさん褒めてくれるので、子どもも私も嬉しく自信になります。</li> </ul>
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	26	6	1	3	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・面談をまだしていないので分からない。</li> <li>・あゆみでの面談が適切に行われていると思います。</li> <li>・問題がなければそのままなので。</li> <li>・よく相談させてもらいました。</li> </ul>
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	19	4	2	11	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・日曜日で会う保護者さんと話すことはありますが、見る場所が同じ人のみなので時間的にも少ないような気はします。</li> <li>（あゆみより）嘱託医の島崎Dr.・スーパーバイザーの田村氏による発達に関する勉強会及び、教育研究所の先生による就学についての勉強会など開催いたしました。日程などが合わず、多くの保護者の方はご参加いただけなかったかと存じます。今後も勉強会や茶話会など企画いたしますので、よろしく願いいたします。</li> </ul>
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	30	4		2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・相談したらすぐ対応してくれたのでできています。</li> <li>・対応はしっかりできていてとても助かります。</li> <li>・少し心配事があっても先生たちがその時できることを子どもに合わせてやってくれているなあ…と思います！</li> <li>・親身に聞いて下さって気持ちが楽になりました。ありがとうございました。</li> </ul>
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	32	2		1	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できている。</li> <li>・連絡帳や電話で。</li> </ul>
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	16	5	1	14	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページをあまり見ないですし、チェックはしていない。会報は見たことないかも…。</li> <li>（あゆみより）ホームページの更新を行いますので、ぜひ見ていただけたらと思います。今年度は「あゆみだより」を発行することができず申し訳ありませんでした。今後は皆様にあゆみの様子を知っていただけるように努力いたします。</li> </ul>
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	33				2	3
非常時等	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	23	2		11	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・これからだと思います。まだしていません。</li> <li>・一日の療育内ではされているのでは？</li> <li>（あゆみより）マニュアルなど準備しておりますので、閲覧いただけたらと思います。また、ご不安な点がございましたらいつでもお問合せください。</li> </ul>

の 対 応	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	27			9	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・できている。</li> <li>・療育中に見学などをしていないからわからない。(1時間療育なので)</li> <li>・1時間だからかな…と思いますがわからない。(あゆみより) 月1回の避難訓練を実施いたしております。想定した日にご利用のお子さまには参加いただいております。</li> </ul>
満 足 度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	33		1	2	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・センターに預ける時も帰る時も機嫌がいいので楽しく過ごしていると思います。</li> <li>・楽しいみたいで朝送迎しても教室にすぐ入るようになりました。</li> <li>・準備するのを手伝ってくれます。</li> <li>・来ることにより曜日の感覚が少しできました。</li> <li>・だんだん慣れ、泣くこともなく通所できるようになりました。通所できてよかったです。</li> <li>・嫌なときもありました。ぐずりました。すみません。</li> <li>・毎週楽しみにしています!!</li> <li>(あゆみより) まずは楽しく通っていただくのが何よりです。今後とも、通園しやすく安心して活動ができるように努力いたします。</li> </ul>
	23	事業所の支援に満足しているか	33	2		1	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・すごく良くしてくれるので子どもも良い方向に成長しているので感謝しています。</li> <li>・大変お世話になりありがとうございました。</li> <li>・新しくなりあわただしい中では良くしていただいたと思います。</li> <li>・こちらに通所でき本当に良かったです。</li> <li>(あゆみより) 開所初年度ということもあり、ご迷惑をおかけいたしました。皆さまのご協力のおかげと感謝申し上げます。職員一同今後とも精進し、皆様に頼りにされるセンターとなるように努めてまいります。</li> </ul>

\*1 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

\*2 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

\*3 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

\*4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。